



月刊 河井克行



2014年【第28号】

1月号

衆議院議員 河井克行事務所
自由民主党広島県第三選挙区支部

国会事務所
TEL03-3508-7518
FAX03-3508-3948

広島事務所
TEL082-832-7301
FAX082-878-3301

河井克行公式ホームページ
<http://kawai.fine.to/katsu/>



平成二十六年新春のご挨拶



～強い経済が、強い外交と強い社会保障をつくります～

あけましておめでとうございます。皆様には、平成二十六年の輝かしい初春をお迎えになられたことを、心からお慶び申し上げます。

新しい年に賭ける皆様の夢の実現に政治がいささかでも応援できれば幸いに存じます。

国民お一人おひとりが未来に希望をもてる国と社会をつくる、これが年頭に当たっての私の抱負です。そのためには、国力の源であり、国民の日々の暮らしに直結する経済の建て直しを最優先に推し進めなければなりません。今年は去年よりも一層、日本経済復活の足音がはっきりと聞こえる一年になると確信しています。

一方で気懸りなことがあります。それは、東アジアにおける近隣諸国との緊張の高まりです。戦後69年続いたわが国の平和、国家の主権、そして領土・領海・領空は断固守り抜きます。毅然とした外交と強靱な安全保障をこれまでより真剣に築かなければなりません。今年は私たちの覚悟が試される一年になることでしょう。

私たちは、「前の民主党政権よりましな政治を行っている」という低水準の評価に決して甘えるべきではありません。第二次安倍政権の使命は、五十年先も世界に貢献できる日本の平和と繁栄をつくりあげるための“革命的な改革断行政権”だと、私は考えます。高い理想と確かな目標に基づき、勇気ある挑戦を始めた安倍内閣を私は全力で支えます。

本年も引き続き、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

衆議院議員 河井克行



総理特使としてケニア共和国独立五十年記念式典に参列

～ケニヤッタ大統領宛の安倍総理親書を手渡す～

日本・ケニア友好議員委員会委員長を務める河井克行代議士は、12月11日から16日まで東アフリカにあるケニア共和国を訪れました。首都ナイロビのモイ国際競技場で行われた独立五十年記念式典に安倍総理特使として参列。ケニヤッタ大統領夫妻主催午餐会では、アフリカ各国の首脳らと意見交換。また、外務大臣政務官として二度訪問した際に親交を結んだ当時の閣僚たちと九年ぶりに再会。ケニアを代表する有識者との夕食会、日本の経済協力で完成したナイロビ西部環状道路の視察などを精力的に行いました。



ケニヤッタ・ケニア共和国第四代大統領夫妻



ルト・ケニア共和国副大統領と。六月に第五回アフリカ開発会議横浜で会談した際に、有能で明るい人柄に魅了。同世代の政治家として親交を築きました



キバキ・ケニア共和国前大統領。国賓として九年前に広島を訪問されました



六月に第五回アフリカ開発会議横浜で会談したキクウェテ・タンザニア連合共和国大統領

一昨年十月、美土里町神楽門前湯治村やおたふくソースお好み焼き館などにご案内したエスロー・ケニア国会議員が改選後、上院議長に就任



六月に第五回アフリカ開発会議横浜で会談した
ベンサラ・アルジェリア国民評議会議長



グリーンフィールド・アメリカ合衆国国務次官補
(アフリカ担当)

キバキ政権の二人の元外相と歓談。
トゥジュさん(左)とムワクウェレさん。
大統領に随行して九年前に広島を
訪れたときからの旧友です

ナイロビ国立公園のキリンです ▶
(撮影:河井克行代議士)



普天間飛行場の辺野古移設に大きな一歩

～一年間で沖縄県出張十四回～

12月27日、仲井眞弘多・沖縄県知事は米海兵隊普天間飛行場を名護市辺野古に移設する埋め立て申請を承認しました。河井克行代議士の政治の師である橋本龍太郎総理大臣が米国クリントン大統領と移設の合意をしてから、十七年の歳月が流れた末のことです。河井克行代議士は、沖縄の皆様の声を総理官邸や党本部に届けるため、昨年二月以降、実に十四回もの沖縄県出張を行いました。そしてこれからも、沖縄の発展と基地負担の一層の軽減に向けて、地元の皆様との対話を続ける決意です。

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設問題がヤマ場を迎えている。名護市辺野古への移設の前提になる政府の埋め立て申請に対し、沖縄県の仲井眞弘多知事が12月以降に可否判断する見通しで、来年1月には名護市長選も迫る。沖縄問題に取り組む自民党の河井克行・前衆院外務委員長(広島3区)に現状や課題を聞いた。(城戸収)

永田町発

普天間移設 課題は

前衆院外務委員長
河井克行氏(広島3区)

「日本の安全保障を担保しつつ、沖縄の思いを伝える」は現地の声を聞き続けるしかない」と話す河井氏



沖縄の声より広く聞く

「県外移設を掲げていた条件だが、十分条件ではな... 沖縄県を地盤とする自民党... 国会議員や党沖縄県連が、政府、党本部が沖縄の声に... 辺野古移設の容認へと方針... 転換しました。必要がある。政府、自民党の方針との... ねがれ解消は、県外移設を... 主張する知事に埋め立てを... 承認してもらった必要... 立候補を表明し、保守系が... 分裂状態になっています。満了を迎える。沖縄は既に... 2人へ何度も会ってきた。「政治の季節」に入っ... が、辺野古移設の約約に... する温度差だけでなく、互... の感情的なもつれも背景... がある。一本化のめどは立... つていない。一 名護市長選の情勢が知... 事への判断に影響を与える可... 能性は。安倍政権は... 知事に年内に多大な影響も及ぼす。安... 倍政権はより早く修復した日米関係... による。安倍政権は... 判断してもらいたいと考え... 倍政権にとって移設問題は... 求心力を左右する試金石に... なる。このしに入って沖縄県を... わる問題。市長選と知事の... 埋め立て判断は切り離して... 考えるべきかと思っ。知事の判断がどうなるか... は分からない。仮に埋め... た。日本の安全保障を担保... 立てを認めたとしても、沖... 縄に政治的な混乱は起き... る。来年末には知事が任期... ばならない。」

10月30日付『沖縄タイムス』

12月1日付『中国新聞・永田町発』

第3種郵便物認可 (月ごめ購読料(消費税込み)2,990円) 沖縄

名護保守分裂で迷走

来年1月の名護市長選で、前市長の島袋吉和氏が29日、出馬の意向を固めた。県議の末松文雄氏も31日に正式に出馬表明する予定で、再選を目指す現職の橋本進也氏と三つどもえの激しい選挙戦となる可能性が出てきた。難航しながらも一本化したかに見えた野党の入選、争点の米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設をめぐる姿勢の違いから、保守陣営の「内部分裂」が表面化している。(北部支社・浦崎直也)リー一面参照

「今、名護が一番大事な時にある。出馬しないともっと後悔する。29日、記者会見で、島袋氏は語気を強めて訴えた。島袋氏は2010年1月の市長選で橋本氏に敗れた後、再選を目指す支持者から「和の会」のメンバーとしても活動。北部地域振興協議会の顧問も務める。辺野古移設促進市民大会を開業する。辺野古移設とリンクした北部地域の振興を訴えてきた。島袋氏は、辺野古移設を条件付きで容認する市議会野党会派「曉之会」が擁立する末松氏と、辺野古移設「容認」を政策に明記するかどうかで対立。自身が、移設容認を掲げて、出馬し、市民に移設の賛否を問う構えだ。

一方で、和の会の正副会長が「島袋氏本人が辞退した」と報告した選挙委員会のあり方についても不満を語る。今後の一本化に向けた話し合いにも(宇)

仲井眞知事は一本化期待

島袋氏「辺野古」意思固く

辺野古区で27日開かれた保守系団体の集いやその後の懇話会支持者から「勇気を振り絞って立候補すべきだ」「今までの集大成になる」と背中を押され出馬を決意、翌28日には、仲井眞弘多知事にも出馬の意向を電話で伝えたという。島袋氏の出馬は政府や自民党本部にもすぐさま伝わった。29日には自民党の石破茂幹事長や、元防衛庁長官の中谷元自民党副幹事長が直接電話し、島袋氏に副意を促したが、島袋氏は「出馬する気持ちは、変わらない」と伝えた。

同日夕方には普天間飛行場長官の朝比奈河井克行衆院外務委員長が島袋氏の事務所を訪ねて面談し、45分間わたって、一本化への協力を要請。しかし、島袋氏の意思が変わることはなかった。河井氏は「市長任中からの辺野古移設に傾けてこれなりたい」とはっきり聞かせてもらった(出馬)。前市長が考えた」とい言葉少なな事務所を後にした。

同日夜、31日の出馬表明に向けて後援会の幹事と会合を重ねた末松氏、島袋氏が出馬の意向を固めたこと(「島袋氏から、出馬するとの連絡はない。本人に聞いてみたい」とわからない」と驚きを隠さず、自身の出馬については「出馬は変わりません」と明言した。

県外で保守分裂となったことへの感想を求められた仲井眞知事は「二枚舌になっても前回(市長選等)は勝てなかった」と、分裂回避への期待感をにじませた。

矢口川で国の事業が始まります



安佐北区口田の矢口川総合内水緊急対策事業起工式で挨拶。国土交通省、広島県、広島市が連携、水害のないまちづくりを目指し、五年間で国費三十億円をかけます。河井克行代議士は事業の新規採択に力を尽くしました(11月23日)

地元の発展に全力を注いでいます



安芸太田町特別養護老人ホーム寿光園竣工式・開園40周年記念式典で挨拶(10月9日)



安芸高田市向原生涯学習センターみらい竣工式でお祝いの言葉を述べる(11月1日)



安芸高田市工業フェア地域経済振興フォーラムでパネリストを務める河井克行代議士。過疎地域の将来と産業育成について、全国の先進事例を数多く紹介しました(11月2日)



道の駅舞ロードIC千代田竣工式で挨拶(10月11日)

長年に渡り、JR可部線の延伸に取り組んできた河井克行代議士。全国で初めて、廃止されたJR路線が復活することが決まりました。JR可部線廃線鉄道復活記念大会鉄道復活記念大提灯行列出発式(11月2日)





安芸高田市市制施行十年記念式典でお祝いの言葉を述べる(12月1日)



広島市安佐北区で行われた広島県議会議員補欠選挙の当選報告会。自民党公認で戦った渡辺典子さんの勝利を祝う(11月10日)



地域の農業をしっかりと応援します。河井克行代議士は、自民党TPP対策委員会主幹を務めています。可部町農業祭のテープカット(11月24日)



安芸高田市公式マスコットキャラクター「たかたん」に遊んでもらいました(12月1日)

国会参観のおさそい

有権者の代表として河井克行代議士が日々仕事をしている「国権の最高機関」を、東京に来られる際に見学されませんか。衛視がおよそ一時間ご案内します。平日は朝八時から、土曜日・日曜日・休日も参観



できます。手続は河井克行事務所にお問い合わせください。

安芸高田法人会女性部会一行と(9月7日)